

## 「シユミが合う人」 連々

▽主役：図書委員。うるさいのと散らかってるのは苦手。カウンターの無愛想な先輩で名が通っている。自分の好きな本をことごとく借りているヒロインが気になっている。  
当番は火、木曜日。

（放課後のチャイム、ヒロインが本を借りに来る。図書室には2人以外誰もいない）  
……ねえ。

そんなにびっくりされると困るんだけど。：君、こういうジャンルばっか読んでるよね。よくご存じでとか、図書委員の俺が手続きしてるんだから知っておかしくはないでしょ。ココってあんま利用者いないし。今だって誰もいないしさ。ま、楽でいんだけど。

そんなびくびくされると、まるで恫喝<sup>どっかつ</sup>してるみたいじゃん、俺。

ただ、興味があつたから聞いてみただけなのに。

……何笑つてんの。あー……んーまあ確かに意外かもね。声かけるのは初めてだし。

（全然良くないと思ってる）

え、俺有名？は、ブアイソウ……？へー……別に、いいけどさ……。

（好きなジャンルを問うヒロイン）

俺？あー…俺も、それ系好き。うん。特に、その作者が。

ちよつと現実離れたものでも、なんか…手に取るように分かる表現が好きなんだ。違和感なく。ホントどんどん読める。その次に出たやつ、今度入ってくるらしいから読んでおくといいよ。

……まあ、うん。好き。人と趣味が合うことってなかなかないし。

今月のオススメ？あー、俺その本にしてたんだっけ。

好きで図書委員なってるやつなんて少ないからさ、毎月何にするか皆悩んでるけど、俺は好きなもの書いて出してる。掲示板見る人もいるんだね。

俺のを、参考に？ああ……そっか。フフツ。

これで理解した。俺と趣味が合う理由。

あと、どうして俺が君の借りてる本を網羅できてるのか。

（顔を赤らめるヒロイン。少し艶っぽく）

顔が赤いってことは、俺の想像通りでいいのかな。

じゃあ……次の俺の当番の日、分かってるよね？ちゃんと……来てね。

…… 以上 599 字

◎ 連々 <https://www.renrenrenren.com>

二次配布と自作発言は禁止しています。フリー台本であることを記載してください。